

【開催場所】

芝浦工業大学豊洲キャンパス

〒135-8548 東京都江東区豊洲3-7-5

<http://www.shibaura-it.ac.jp/access/>

最寄駅：メトロ豊洲駅、ゆりかもめ豊洲駅

【参加費】

2,000円(税込) ※お支払いは当日会場をお願いします。

【募集人員（定員になり次第、締め切りといたします）】

300名

【プログラム】

10:00-12:00 プレリミナリー・セッション

「実務現場から見た大学輸出管理

～実態と課題の共有、次のステップへ～」

モデレーター：足立 和成（山形大学 教授）

13:00-13:10 開会挨拶

13:10-13:25 講演Ⅰ

「安全保障貿易管理に係る経済産業省の取組みについて」

講演者調整中（経済産業省 貿易管理部 安全保障貿易管理課）

13:25-13:40 講演Ⅱ

「大学の国際化と危機管理について

～安全保障貿易管理に関する観点から～」

岩渕 秀樹（文部科学省 高等教育局 国際企画室長）

13:40-13:55 講演Ⅲ

「国際輸出管理レジームにおける最近の動向」（仮）

松本 洋（外務省不拡散・科学原子力課企画官）

13:55-14:10 講演Ⅳ

「外国人の出入国管理について（留学生を中心に）」

丸山 秀治（法務省 入国管理局 入国在留課長）

14:10-14:50 基調講演

「大学等研究機関における安全保障輸出管理に関連する

注目点」（仮）

押田 努（(一財)安全保障貿易情報センター(CISTEC)

専務理事）

15:00-17:00 パネルディスカッション

「大学における輸出管理に係るリスクマネジメントの

現状と課題」

モデレーター：石田英之（立命館大学 招聘研究教授）

17:30- 懇親会（別途3,000円）

<詳細は下記URLをご確認ください。>

<http://kokucheese.com/event/index/438901/>

【趣 旨】

平成17年の文部科学省及び経済産業省通達以降、大学における輸出管理体制構築が個々に取り組みられてきました（「個の構築」）。初期には、輸出管理の理解、大学内部の意識向上に重点が置かれ（「個における理解」）、そして、取組開始後約10年を経た平成26年に6団体による関係3省に対する包括的改善要請書が出されました（「協働による提案」）。この要望書がレバレッジとなり経済産業省による大学関係Q&A及び貨物・技術合体マトリクスが公表され、前回EFA2016では、この結果を踏まえた議論を行いました（「提案結果の共有」）。

このような「個の構築」⇒「個における理解」⇒「協働による提案」⇒「提案結果の共有」の軌跡を踏まえると「定着」（Routine）に向けた具体的活動が、今求められているといえます。これまでの取り組みを敷衍し、持続的・安定的に運用していくために、何（What）をしなければならないのかを考えていきます。

【主催】

輸出管理DAY for ACADEMIA実行委員会

【共催】

(特非)産学連携学会 芝浦工業大学 九州大学

【後援】(予定)

経済産業省 文部科学省 外務省

(一財)安全保障貿易情報センター(CISTEC) 日本安全保障貿易学会(JAIST)

(一社)日本知財学会 (一社)大学技術移転協議会(UNITT)

(一社)日本電気計測器工業会(JEMAMA) (公社)日本技術士会

(株)日刊工業新聞社

(独)日本学生支援機構(JASSO)

■お問合せ■

国立大学法人山形大学国際事業化研究センター

担当：白幡、三條 TEL：0238-40-0761

以上

